



Japan Society of Internship
and Work Integrated Learning

日本インターンシップ学会 NEWS LETTER

2019年度 No.2

■目次

- ・ 会長再任にあたってのご挨拶
- ・ 第21回大会（於：桜美林大学）開催に向けて
- ・ 理事会報告
- ・ 2019・2020年度役員
- ・ 2019・2020年度委員会構成
- ・ 年報編集委員会報告
- ・ 広報委員会報告
- ・ 2020年度高良記念研究助成募集
- ・ 支部活動報告
（北海道支部、東日本支部、関西支部、九州支部）
- ・ 事務局からのお知らせ

会長再任にあたってのご挨拶

この度、選挙により再選され、引き続き2年間、会長を務めることになりました。1期目では、様々な試行錯誤もございましたが、副会長をはじめとする役員、会員、並びに事務局の皆様のご協力により、何とか任期を終えることができました。2期目を務めるにあたり、この経験を本学会の更なる発展に生かし、本学会の更なる発展に努めて参りたいと思います。一層のご助言とご助力をよろしくお願い申し上げます。

さて、この2年の間に我が国のインターンシップに対する理解は急激に変化しています。特に、高等教育機関や企業の積極的な取り組みはもちろんのこと、教育を受ける側である学生の意識の変化が顕著に見られます。インターンシップとは、ほんらい就業体験を通じて、将来のキャリアデザインを考えるうえで役割を果たすことを目指すものです。しかし残念なことに、会社見学会や会社説明会を実態とするワンデーインターンシップが「インターンシップ」の名のもとに広く実施されるなど、インターンシップほんらいの意義が見失われつつあります。これは、経年の就職状況とも密接な関わりがあり、企業や学生のキャリアに対する考え方の変化を背景としたものであると考えられます。

しかしながら、インターンシップを学生にとっての就職活動のプロセスとしてとらえる認識は、改められなければなりません。教育の観点からインターンシップをとらえるのであれば、インターンシップとは、まさに中・長期の、質の高い内容を保証するものでなければなりません。このような視点から、多くの業種を経験するインターンシップや将来のキャリアに直結するインターンシップの実現を目指していくことが、強く求められています。急速に変化しつつある働き方に対応できるインターンシップを整備することも、重要な課題です。

本学会は、今期、設立20年を迎えました。今日

まで諸先輩方々が積み上げてこられた研究成果を振り返りつつ、2期目には、近年の会員の皆様の広範囲な研究分野や地域における特性等を考慮した支部活動を基軸とした学会運営の充実を目指して参りたいと思います。併せて、さらに、学会役員と支部・会員とのコミュニケーションの強化を図ることを目指します。

これらの目標に邁進する中で、新型コロナウイルス感染症が猛威を振るい、2020年4月には、政府による緊急事態宣言が発令されるなど、会員の皆様におかれましては、卒業式、入学式、授業期間などの学事日程の変更や在宅勤務等、職場環境の大きな変化を余儀なくされたことと存じます。また、5月25日には、緊急事態宣言が全国で解除されたものの、引き続き、オンライン授業や在宅勤務等が継続され、多くのご苦勞をなされていることと存じます。インターンシップや免許・資格の取得に必要な実習などは、きわめて重大な影響を受けています。関係者の皆様には、心からお見舞い申し上げますとともに、新入生及び就職活動期を迎えた学生に対する指導等を含め、会員の皆様と情報の共有を図り、この度の感染症の影響を最小限度に食い止められればと願っています。

学会運営についても、理事会をオンラインで開催するなど、新たな可能性を模索しています。今後予定されている全国大会等においても、従来のリアルだけでなく、オンライン等を取り入れるなど、会員の皆様の学会活動を全面的にバックアップできるよう努めて参ります。さまざまな会員サポートの充実についても検討して参りたいと思います。どうぞ、忌憚のないご意見やご提案をいただけますよう、お願い申し上げます。

（会長 折戸 晴雄・玉川大学客員教授／
TOC 総合研究所・代表取締役）

第 21 回大会開催に向けて

新型コロナウイルスによる社会生活への影響がまだまだ収まらない中、学会員の皆様もその対応において、引き続き大変な苦慮をされていることと思われます。こうした環境において、これまで準備を進めてまいりました第 21 回大会についても、その開催のあり方について再考を迫られることとなりました。

5 月 25 日に東京都でも非常事態宣言が解除されましたが、今後も予断を許さない状況にあります。しかも当初設定しておりました 8 月末の開催まで時間が迫ってまいりました。他の学会では、同時期の大会の開催を延期、あるいは今年度の開催を取りやめたところもあります。また、これから数か月間に開催する場合でも、オンラインで行うケースが多数派を占めております。今後、経済活動の再開が軌道に乗っていったとしても、8 月の段階で多人数が集まる会議を開催することに対し、社会的認知を得られることはまだ難しいのではないかと思います。

したがって、当初ご案内した大会開催日程を見直し、**2020 年 11 月 22 日（日）に変更**して開催することといたしました。1 日での開催です。開催方法についてもオンライン上での方式に変更させていただきます。これにより、これまで今期の大会での発表に向けて準備をされてきた学会員の皆様には、開催日の変更によって不都合が生じる方もおられるかもしれません。その点、深くお詫び申し上げます。

なお、今回の大会では、新型コロナウイルスによってもたらされた様々な影響を織り込むようなテーマをメイン・テーマとして掲げたいと考えております。学生の皆さんは、今回の問題によって勉学、就職活動において甚大な影響を被っております。また、企業の側も、採用活動の見直しを迫られました。当然、インターンシップのあり方も、それに伴って変容を迫られる部分が出てくるものと思われます。この間の経験を振り返り、そしてそれが無駄にならないよう、今後のよりよいインターンシップのあり方を議論できるような大会にできれば、と考えている次第です。

(第 21 回大会実行委員長・戸崎 肇・桜美林大学)

理事会報告

2019 年度 第 3 回理事会 (2019 年 11 月 23 日 於：文化学園大学)

(1)2019-2020 年度 副会長及び常任理事の選出

移行に際し、検討すべきさまざまな課題が提案されたことから、新体制における副会長及び常任理事の選出、各委員会の長については、引き続き検討を行うものとした。

(2)2018 年度監査報告

根本事務局長より資料に基づき決算が説明された後、横山監事より監査報告がなされた。

(3)第 21 回全国大会開催校について

2020 年 8 月 29 日・30 日に桜美林大学新宿キャンパスで開催予定の第 21 回全国大会について、開催校の戸崎氏より、概要の説明がなされた。

(4)事務局長の退任について

根本事務局長より、健康上の理由により退任願いが提出され、審議の結果、認められた。

2019 年度 第 4 回理事会 (2020 年 3 月 5 日 *書面会議)

新型コロナウイルスの感染の防止を巡る昨今の状況を鑑み、3 月 4 日にアベニュー高輪での開催を予定していた理事会の延期にともない、緊急性のある以下の 2 つの議案について、書面による審議をおこなった。

(1)3 月 4 日理事会参加予定の先生方のキャンセル料等の学会負担について

審議・採決の結果、賛成多数で承認された。

(2)Web 会議システムの導入の検討について

審議・採決の結果、賛成多数で承認された。

2019 年度 第 5 回理事会 (2020 年 5 月 23 日 *Web 会議)

(1)2019 年度の体制について

折戸会長より、緊急事態宣言下にある現状を鑑み、保留となっていた副会長及び常任理事等についての議論は、引き続き検討するものとし、学会運営に直接関わる年報編集委員会と広報委員会の組織を先行することの説明がなされた。その上で、第 4 回理事会・同日の総会において承認された事務局長の代行として、山口理事が指名され、審議の結果、了承された。

(2)入退会の審査 (資料無し[当日画面共有])

個人会員 4 名の入会申請、個人会員 1 名の大会申請について、審議の結果、承認された。

(3)年報編集委員会・広報委員会の委員の選出について

各支部長を通して推薦のあった年報編集委員 4 名、広報委員 6 名の理事・会員について、審議の結果、承認された。各委員に就任する会員については、各支部長を通じて連絡いただくとともに、各委員会において、各々の委員会の長の候補並びに必要な委員の補充について検討し、会長に報告・承認を得ることを決定した。

(4)全国大会 (総会を含む) の開催について

他学会等の動向を踏まえつつ、第 21 回全国大会の開催の是非について、審議を行った結果、第 21 回全国大会は、開催校である桜美林大学の準備状況等を踏まえ、方法・内容を限定して開催する方向で調整を進めることを決定した。また、詳細については、次回理事会において検討することとした。

(5)ニューズレターの発行について

2019 年度ニューズレター No.2 の発行要領について、審議の結果、承認された。

(事務局)

2019・2020 年度役員

2020年6月現在、2019・2020 学会年度役員は、下記のとおりです。2019 年度総会后、理事会にて審議中のもの、若しくは一部変更されているものがございます。(詳細は、理事会報告をご参照ください)

(五十音順、敬称略)

【会長】

折戸 晴雄

【副会長】

安孫子 勇一、古閑 博美、吉本 圭一

【常任理事】

* 調整中

【理事】

安孫子 勇一、牛山 佳菜代、江藤 智佐子、
遠藤 雅子、小川 祐一、上岡 史郎、古閑 博美、
小林 純、酒井 佳世、高瀬 和実、椿 明美、
戸崎 肇、福岡 哲朗、二上 武生、古田 克利、
松坂 暢浩、薬師丸 正二郎、山口 圭介、
吉本 圭一

【監事】

澤田 隆、横山 皓一

【事務局長(代行)】

山口 圭介

(事務局)

2019-2020 年度委員会構成

2019・2020 学会年度役員選出を受け、2019・2020 年度委員会等構成が下記のとおり決まりました。

(五十音順、敬称略)

【年報編集委員会】

委員長：吉本 圭一(九州支部)
副委員長：古田 克利(関西支部)
委員：江藤智佐子(九州支部)
椿 明美(北海道支部)
手嶋 慎介(東日本支部)
山口 圭介(東日本支部)

【広報委員会】

委員長：江藤智佐子(九州支部)
副委員長：牛山 佳菜代(東日本支部)
見目 喜重(東日本支部)
小林 純(北海道支部)
委員：石田 麻英子(北海道支部)
中島美佐穂(関西支部)
安田 麻季代(九州支部)

【学会表彰委員会】

* 調整中

【企画研究委員会】

* 調整中

(事務局)

年報編集委員会報告

2019-2020 年度年報編集委員会が新たな委員会構成で、2020年6月14日開催の第6回理事会を経て正式発足しました。本委員会では、研究年報第21号、第22号の刊行遅延と関連事故に対処していくとともに、第23号以後の編集発行の正常化を最大の課題として業務を行ってまいります。第23号への論文等投稿をいただいている会員にはあらたな査読・編集工程をお示ししておりますが、会員諸氏のご理解、ご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。

なお、これまでの事故等への対応については、調査結果等確認次第、あらためてご報告いたします。

(年報編集委員会委員長 吉本 圭一・九州大学名誉教授)

広報委員会報告

2019-2020 年度広報委員会

役員改正に伴い、広報委員会も新たな委員構成となりました。各支部から選出された7名の委員で担当いたします。広報委員会の活動としては、年2回のニューズレター発行、学会ウェブサイト管理、会員へのメールマガジン配信、学会ロゴ管理等を主にしております。タイムリーな情報提供を目指し、会員の皆様に情報提供を行ってまいりたいと存じますので、ご支援、ご協力のほど、お願い申し上げます。

学会ウェブサイト・メールマガジン配信について

広報委員会では本学会に寄せられた研究会やセミナー開催案内および教員公募等、会員の皆さまにとって有益な情報を学会ウェブサイトに掲載するほか、随時、メルマガで配信しております。本学会に関連する情報がありましたら広報委員会までメールでお寄せください(jsi.prc@gmail.com)。なお、最終的な掲載可否は広報委員会で検討させていただきますのでご了承ください。

新年度になりアドレスを変更された際には学会ウェブサイト「会員情報の更新」で各自アドレス更新をお願いいたします。

(広報委員会委員長 江藤 智佐子・久留米大学)

2020 年度(第14回)高良記念研究助成募集について

本学会では、2007年度から、インターンシップに係る研究・実践活動の発展・普及のため、特に若手研究者の育成や会員相互の研究交流の促進を図ることを目的とする「高良記念研究助成」制度を設け、優れた研究課題への研究助成を行っています。

第14回となる2020年度の研究助成応募につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響等により、ご案内が遅れご心配・ご迷惑をおかけしてござ

たが、第6回理事会にて、例年通り、募集を行うことを決定致しました。募集要項等、申請に係る書類につきましては、近日中に学会ウェブサイトに掲載予定です。多くの会員の皆さまのご応募をお待ちしています。

(事務局)

支部活動報告

【北海道支部】

北海道支部 2019 年度総会・第1回研究会を開催

2020年2月25日(火)、札幌国際大学経済センターキャンパスに於いて、2019年度北海道支部総会および第1回研究会を開催いたしました。本会には9名の方にご参加いただきました。

総会では、2018年度の活動報告および、2019年度の間活動報告、さらに2020年度の活動計画について議論が行われ、承認をいただきました。また2020年度(2020年7月)より支部役員が改選となり、以下の会員が選任されました。

〔支部長〕小林 純会員(札幌国際大学短期大学部)

〔副支部長〕高橋 秀幸会員(北海道武蔵女子短期大学)・原 一将会員(札幌国際大学)

〔運営委員〕石田 麻英子会員(札幌国際大学短期大学部)・亀野 淳会員(北海道大学)・齋藤 麻美世会員(北海道武蔵女子短期大学)、田崎 悦子会員(きやりあ工房)、椿 明美会員(札幌国際大学)

総会終了後には研究会が実施され、2件の研究発表が行われました。今回の発表者と題目については以下の通りです。

①樋原 智恵会員(北海道武蔵女子短期大学)「非難関大学における必修キャリア教育科目の課題～2大学を対象とした実証研究から」

②椿 明美会員(札幌国際大学)、和田 佳子会員(札幌大谷大学)「文学学部教育の社会的効用—卒業生アンケート調査結果から」

この他、北海道支部の今後の活動についてのディスカッションが行われ、他学会の在北海道支部との連携や、今後予定される支部研究会の講演内容など議論されました。

北海道支部第2回研究会中止のお知らせ

2020年5月に予定されていた、北海道支部第2回研究会はCOVID-19感染拡大による緊急事態宣言発令などに伴い、中止とさせていただきます。今後の研究会については、社会状況を考慮しながら、企画・検討をして参ります。

(北海道支部 副支部長 小林 純・札幌国際大学短期大学部)

【東日本支部】

2019 年度第2回支部研究会を開催しました

第2回支部研究会は、2019年12月14日(土)に「地方圏の中小企業が取組むインターンシップ・プログラム事例から学ぶ」をテーマに山形(開催校:山形大学)で開催しました

今回は地方開催であることから、地域でインターンシップを受入れている中小企業の経営者である佐藤 啓氏(株式会社サニックス 代表取締役社長)と前盛 直人氏(株式会社エム・エス・アイ 経営企画室 室長)をお招きし、実践報告をいただき、質疑応答および意見交換を行いました。特に、どのような目的を持ってプログラムを企画・運営されているか、教育的効果を担保するために工夫している点、社内調整のポイントなど示唆に富んだお話を伺うことができました。

また自由研究発表では、松坂 暢浩会員・山本 美奈子会員(山形大学)よりインターンシップ受入企業に対する研究報告があり、盛会のうちに支部研究会を終えることができました。



2019 年度第3回支部研究会(開催延期)

2020年3月7日(土)に開催を予定しておりました第3回研究会「インターンシップ研究の意義と手法」につきましては、新型コロナウイルス感染拡大の状況を考慮し、次年度に延期することとさせていただきます。今後予定が決まり次第、会員の皆様にご案内をさせていただきます。

(東日本支部 支部長 松坂 暢浩・山形大学)

【関西支部】

関西では、2020年4月の政府による新型コロナウイルスの「緊急事態宣言」において、大阪府・兵庫県・京都府の2府1県が「特定警戒都道府県」に指定されるなど、同ウイルスの感染拡大が強く懸念されていました。感染防止に向けての政府や自治体等からの強い要請もあつて、関西支部では、対面での支部運営委員会(例年は春休み頃に開催)などの活動を控えてきました。また、大会を担当しない年には8月に開催してきた支部研究会についても、8月に開催することは、会場確保を含めて難しいと判断しています。

もっとも、5月21日に関西2府1県の「緊急事態宣言」が解除されたほか、現在では関西の多くの大学でオンラインによる授業が開始されています

(対面授業の全面再開には慎重な大学が少なくありません)。また、夏休みが短縮される予定の大学も多いようです。そこで、目下、関西支部研究会を昨

年と同様、12月に開催する方向で検討しています
(同ウイルス感染が再び拡大した場合には、オンラインで開催する可能性もあります)。日程等が正式に決まりましたら、学会ウェブサイト等を通じてご案内いたします。

(関西支部 支部長 安孫子 勇一・近畿大学)

【九州支部】

2020年度支部総会・第25回研究会のご案内

九州支部では、新型コロナウイルス禍中での会員相互の交流・研究の場として、2020年度支部総会ならびに九州支部第25回研究会をオンライン形式で開催いたします。今後のインターンシップ・就職活動について、参加者相互で情報交換を行い、可能性を検討していきたいと思っております。皆様のご参加をお待ちいたしております。

- ・開催日時：2020年7月3日(金)
支部総会 18:15-18:45 / 研究会 19:00-20:30
- ・開催形式：オンライン (Zoom)
- ・テーマ：情報交換会「コロナ時代のインターンシップ・就職活動の現在と未来」
- ・プログラム (予定)

開会挨拶・趣旨説明 吉本 圭一 会員 (九州大学名誉教授)

企業・大学・仲介組織からの話題提供
高橋 康德 氏 (株式会社カウテレビジョン)
眞鍋 和博 会員 (北九州市立大学)
古賀 正博 会員 (福岡中小企業経営者協会 / 九州インターンシップ推進協議会)

- ・定員：先着 80名まで (参加費無料)
- ・参加申込み方法：Google フォーム(URL/QRコード)から事前にお申し込みください。

<https://forms.gle/ZxoPbK7Ug5XtE3648>

- ・申込締切：令和2(2020)年
6月30日(火)

- ・問合せ先：九州支部 事務局
e-mail: jsikyushujimu@gmail.com

※詳しくは学会ウェブサイトをご覧ください。

(九州支部 広報委員 安田 麻季代 4TuneShape(株))



会員情報変更および確認の連絡について

本学会は、2016年6月より、学会運営業務の一部を(株)ガリレオへ外部委託し、会員情報管理システム(SOLTI)を導入しています。4会員原簿登録情報の更新・確認、会費納付状況や会誌発送状況の確認等の手続きがオンラインで可能ですので、4月以降、ご所属等が変更となりました会員の皆さまにおかれましては、会員情報管理システム(SOLTI)にログインし、必要な修正を行ってくださいますようお願い致します。

会費納入のお願い

本学会の事業年度及び会計年度は、7月から翌年6月までです。2020年度会費の納入につきましては、別途、納入のご案内をお送りさせていただきます。

なお、2019年度の会費が未納となっております場合には、郵便振替用紙または振込にて、下記の会費振込口座への納入をお願い致します。(恐れ入りますが、振込手数料はご負担ください。ただし、ゆうちょ銀行からの振込手数料は無料です。)

【会費振込口座】

郵便口座 02750-1-108419

口座名義(「加入者名」の欄)：日本インターンシップ学会

ゆうちょ銀行

店番：279(当座) 口座番号：108419

口座名義：日本インターンシップ学会

(事務局)

事務局からのお知らせ

2020年度総会の開催について

第6回理事会での審議により、2020年度の総会につきましては、第21回全国大会とは異なる日程でオンラインでの開催とさせていただくことが決定致しました。

詳細につきましては、改めて学会ウェブサイトにてお知らせ致します。会員の皆さまにおかれましては、ご負担をおかけすることになるかと存じますが、事情ご賢察のほど、どうぞよろしくお願い致します。

日本インターンシップ学会 NEWS LETTER 2019 No.2

発行日：2020（令和2）年6月15日

発行：日本インターンシップ学会 会長 折戸 晴雄

編集：日本インターンシップ学会広報委員会 委員長 江藤 智佐子

e-mail：jsi.prc@gmail.com

印刷：日本インターンシップ学会事務局 事務局長代行 山口 圭介

e-mail：jsi-sec@js-internship.jp